

## 利尻島におけるミゾゴイの初記録

村上賢治

〒 097-1201 北海道礼文郡礼文町香深津軽町

### New Record of Japanese Night Heron, *Gorsachius gosisagi*, from Rishiri Island, Northern Hokkaido

Kenji MURAKAMI

Tsugaru-machi, Kafuka, Rebun Is., Hokkaido, 097-1201 Japan

**Abstract.** A Japanese night heron, *Gorsachius gosisagi*, was observed in the forest at Kutsugata, western Rishiri Island, northern Hokkaido on May 2, 2009. This is the first record of the species from the island.

ミゾゴイ *Gorsachius gosisagi* は北海道において春の渡り期に少数が観察される稀な旅鳥であり、(河井ほか, 2003), 礼文島でも2007年5月12日<sup>1)</sup>に観察されている(宮本, 2009)。しかし、利尻島ではこれまでズグロミゾゴイ *Gorsachius melanolophus* の記録はあったが、ミゾゴイの観察記録がなかったため(小杉, 2000, 2008), 筆者が観察した例を報告する。識別にあたって貴重なご意見をいただいた小杉和樹氏(利尻島自然情報センター)に心から御礼申し上げる。

ミゾゴイを観察したのは2009年5月2日10時30分頃、利尻町杓形森林公園樹冠部をハシブトカ

ラスに追われて飛来し、針広混交林内トドマツ中層部にとまった。ハシブトカラスが上空を飛び回るのに対して冠羽を立てて威嚇する行動がみられた(図1)。約2分後飛び立ち、林を越えて見えなくなった。その後、5月3日と5月4日においても同一個体と思われる本種1羽を同じ場所にて確認した。

利尻島では過去にズグロミゾゴイの記録があったため(小杉ほか, 2005), 種の同定は慎重におこなった。両種の識別のポイントは初列風切の先端、初列雨覆先端部の色の違いなどがあげられる(高野, 1995など)。ズグロミゾゴイでは白く、ミゾゴイ



図1-3. 杓形で観察されたミゾゴイ。1: 冠羽を立てて威嚇する, 2-3: 羽ばたいた時に初列風切の先端が褐色であることがわかる。

では栗色となる。図2, 図3では初列風切先端部の色は褐色である。図3では初列雨覆の外側1~2枚先端は白くみえたが, その内側の羽は褐色であった。また, 前頸から腹にかけ黒褐色の縦班(高野, 1995)が確認出来たことから, 本個体をミゾゴイと同定した。

森林棲の本種は, 湖沼や干潟に飛来するサギ類と違い観察が非常に難しいが, 春季, 利尻島や礼文島を定期的に通過している可能性も考えられ, 森林内での定点観察などにより今後観察例が増加するものと推測される。

<sup>1)</sup> 宮本(2009)の記録では5月9日と記されているが5月12日の誤りである。

## 参考文献

- 河井大輔・川崎康弘・島田明英, 2003. 北海道野鳥図鑑. 亜璃西社. 399pp.
- 小杉和樹, 2000. 利尻島における月別鳥類出現リスト. 寺沢孝毅(編), 北海道 島の野鳥: 150-155. 北海道新聞社. 札幌.
- 小杉和樹, 2008. 利尻島の野鳥リスト. 利尻島自然情報センター. 自刊.
- 小杉和樹・田牧和広・佐藤雅彦, 2005. 利尻島における鳥類の新分布および希少種の記録(3). 利尻研究, (24): 5-9.
- 高野伸二, 1995. フィールドガイド日本の野鳥・増補版. 日本野鳥の会. 343pp.
- 真木広造・大西敏一, 2000. 日本の野鳥590. 平凡社. 655pp.
- 宮本誠一郎, 2009. 礼文島の野鳥. レブンクル自然館. 自刊.